

第3回常磐公園の緑を考える集い 開催結果

- 日時 : 平成 29 年 3 月 24 日 (金) 10:30~12:00
- 会場 : 旭川市中央図書館
- 出席者 : 市内在住の市民 6 名
旭川市土木部公園みどり課 3 名
常磐公園自然環境調査ワークショップ参加者 1 名
- 配付資料 : 説明資料
「常磐公園ガーデンボランティア募集」案内
「カンタン」についての資料
『「常磐公園の自然を考えるなかま」による定点観測』記事きりぬき

○開催内容

- 1 開会
- 2 オリエンテーション
- 3 冬期自然環境調査の結果報告
- 4 「ブッシュについて」協議
- 5 定点観測について
- 6 閉会

自然環境調査結果に対する意見について

- 微気象調査結果について、調査機械が高さ 10m の位置に設置されていることから、人が実際に感じる気温や風とは違うことに注意すべき。
- 微気象調査について、調査期間が 1 週間というのは短いと思う。
- 鳥類調査結果について、鳥類に「特定外来種」はない。
- 池の結氷状況について、今年度は結氷時期が早かったと感じられる。引き続き調査が必要ではないか。
- 両生類調査について、現在のところ常磐公園では観測されていないが、アズマヒキガエルやツチガエルが侵入する可能性があるので注視すべき。

ブッシュについて

- トラロープで囲うことはよいが、下草が伸びっぱなしとなり、それを見た来園者が不快に思う場合があるので看板等でしっかり周知すべき。
- 設定した面積について、暫定的・試行的であることからスタートはこれでよいが、面積が小さい。今後水路の下流側へ区域を拡大するとよいと思う。
- 部分的でも水路の護岸を撤去し、水路底を土砂にして水生植物を繁殖させることが昆虫類等にとって望ましい。対応が難しいようであれば柵に繁殖させてもよいと思う。→（市回答）水質や水流阻害の問題があるため、今すぐの対応は難しい。今後ブッシュの状態確認や皆様との協議を進めて対応策を検討したい。
- 設定範囲内に樹木があるとよいと思う。
- 既存の下草はブッシュを造成するうえで支障になると考えられる。すきとって裸地またはブッシュに適した種を選定して新たに植生すべき。
- 常磐公園において何のためにブッシュを造成するか目的を整理すること。常磐公園特有の自然環境や季節的な条件から生物多様性について考えるとよい。
- （市）常磐公園のブッシュ造成は初めての試みとなることから、一概には言えないだろうが、ブッシュを観測するうえで指標になるようなものがあるとよいのだが →（参加者）裸地にする場合は侵入した草の種類を、新たに植生した場合はその種について、観測するとよい。その際はやはり専門家の意見を伺いながら観測を進めるべき。

その他

- （常磐公園の自然を考えるなかまより）堤防上や階段下で気温や風速を観測したところ、自然環境調査とは異なる結果となった。これは観測場所や観測高さが異なるためと考えられる。定点観測として今後も継続して進めていきたい。